

## 『新しい肝性脳症治療

# 難吸収性抗菌剤“リフキシマ”登場』

肝臓川柳



『リフキシマ 肝性脳症 (リ)復帰します』

(リ復帰します…りふっきします…りふきしま…リフキシマ)

……………ノノノノノ

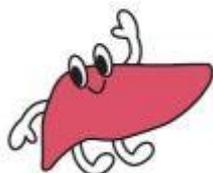
肝硬変末期などでの肝細胞障害による肝機能低下時や門脈—大循環短絡路（シャント）の存在により血中アンモニア値が上昇し意識障害（肝性脳症）が発生しますが、治療法には、

- ◆食事注意（蛋白制限）
- ◆便通注意
- ◆合成 2 糖類投与
- ◆アミノ酸製剤投与
- ◆カルニチン投与
- ・・・などがあります

今回、腸管内のアンモニア発生阻止により高アンモニア血症を改善する肝性脳症の治療薬として、はじめて“難吸収リファマイシン系抗菌薬”『リフキシマ』（あすか製薬：400mg 1日3回食後服用）が2016年11月29日に保険収載されました。

これまでも保険外でカナマイシン、硫酸ポリミキシンBが使用されることがありましたが、難吸収性抗菌薬は、腸管内のアンモニア産生菌（Clostridium, Bacteroides など）に作用することで血中アンモニアを低下させます。

国内臨床試験では、合成 2 糖類（ラクチトール）と同等に投与約 2 週後よりアンモニア値低下、脳症所見改善がみられ、副作用は下痢、便秘など軽微で低頻度でした。他の脳症改善治療と併用が可能であり、使いやすく有用な新しい肝性脳症改善薬が登場しました。



これだけ覚えておけば損はない！

今 回 の ポ イ ン ト

肝硬変末期時には血中アンモニア値が上昇し、肝性脳症が起こる場合があります。腸管内のアンモニア発生阻止により高アンモニア血症を改善する肝性脳症の治療薬難吸収リファマイシン系抗菌薬『リフキシマ』が保険収載されました。他の脳症改善治療と併用が可能であり、使いやすく有用な新しい肝性脳症改善薬です。

（文：福井県肝疾患診療連携拠点病院運営委員会 野ツ俣 和夫）